

しゃっちょうは行く！

Broaden your horizons ⑩1 ~さあ、視野を広げて！~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。

皆さまの職場にも新人さんが入ってこられたでしょうか。メディセレには20人を超える新人が入ってくれました。何だか、身の引き締まる思いです。

先日、新人研修が行われ、私もオブザーバー参加しました。まず、社会人は第一印象が重要です。好感度をアピールできる一回（いちえ）のチャンスを大切にしなければなりません。メラビアンの法則によると、印象は▽55%：表情▽38%：声のトーン▽7%：言葉——で構成されています。この3つを「一致」させることが好感度に結び付きます。もちろん、マナーを欠くわけにはいきません。相手が不快に思わないような振る舞いを心がけるべきです。そもそもマナーとは、相手に感心を持ち、尊重していることを態度や行動に表すことです。目の前に相手がいるのに、携帯をいじっているのは、マナー違反ですよね（笑）。

新人研修の定番といえば、「ホウレンソウ」です。確かに、報告・連絡・相談は社会人にとって基本の「キ」です。もう一つ、こだわっていただきたいのが、ホウレンソウの時期です。社長業としては、「もっと早く相談してくれれば……」と思うことがあります。医療人としても同じことが言えます。ホウレンソウを欠かさない、タイミングを逃さない、それがリスクマネジメントに結び付きます。

よく「リーダーシップ」という言葉を耳にしますが、新人さんは「ペーペーシップ」でしょうか（笑）。楽しみながら発揮していただきたいですね。どんな仕事にも「喜んで！」の精神で取り組み、その経験が積み上がれば、「仕事ができる人」になります。自信は、コンフォートゾーン（居心地の良い場所）の体験ではなく、ストレッチゾーン（少し背伸びした場所）の体験から得られます。自分の行動指針を「できるか、できないか」で決めるよりも、「やりたいか、やりたくないか」で決めてほしいです。「やりたい」と思えば、「では、できるようになるためにはどうすればよいか？」と次のステップが踏めます。「できない」と思った瞬間、次のステップが消えます。

ペーペーシップを発揮する新人さんの前向きな姿勢は良い刺激になります。私たち先輩も次のステップへ踏み出しましょう！

Medisere（メディセレ） 代表取締役社長 児島 恵美子